

八学短大部

八戸工業大

新年度から「単位互換」

八戸市の八戸学院大学短期大学部(外崎充子学長)と八戸工業大学(長谷川明学長)は12日、両大の学生が相互の大学で履修した授業も単位として認定する「単位互換」の協定を締結した。同日、両学長が八戸学院大で協定書に署名した。両大は新年度からの制度開始へ向け、今後詳細を詰める。

両大によると、単位互換によって学習意欲が高い学生に多様な学習機会を提供するとともに、交流と協力を推進する。対象者は新年度時点で短大部学生が1年生、八工大学生が2〜4年生で、どちらも30人以内。単位互換の指定科目を派遣先大学で受けた場合、短大部学生は合計30単位まで、八工大学生は合計60単位ま

で、所属する大学の卒業に必要な単位として算入する



協定書に署名する外崎学長(左)と長谷川学長

ことができる。指定科目は両大で今後協議する。

調印後、外崎学長は「短大部は学生の自主的な学習を重視しており、八工大学生を歓迎したい」、長谷川学長は「(単位互換で)学生の学習範囲をより広げ、地域の人材育成に努める」と語った。

八戸学院大は2002年度(当時は八工大)から八戸工業大と単位互換を実施。本年度は八工大の19人と八工大の12人が制度を活用している。(若松清巳)